

千葉福祉園だより

第79号



東京都社会福祉事業団

 社会福祉法人
 東京都社会福祉事業団
 東京都千葉福祉園

 ☎0438-62-2711 (代表)
 URL: <http://www.chibafuku.or.jp/>

日頃より、保護者の方々をはじめ地域や関係機関の皆様には、当園の運営に関してご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

今年度は第5期指定管理期間最終年度であり、利用者の方々の高齢化・障害の重度化の進行に対応した専門的な支援や日中活動の充実、シルエット型見守りセンサーの導入などの取組を進めてまいりました。また、新型コロナウイルス感染症対策については、園内の感染対策を早期から徹底し、利用者職員が安心して生活、支援ができるよう努めてまいりました。

次年度から始まる第6期指定管理期間の5か年につきましても、東京都社会福祉事業団が指定管理者として引き続き当園を運営させていただきます。利用者の皆様に安全・安心して落ち着いた生活をお送りいただけますよう、利用者本位のサービス提供に努めてまいります。あわせて、職員の専門知識・技術の向上等を図るとともに、リスクマネジメントの推進、老朽化した建物の修繕などもあわせて進めていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

副園長（支援第二部門） 斉藤 啓

保護者会よりたくさんのDVDをご寄贈いただきました

新型コロナウイルス感染症対策のため、諸活動の提供が難しい中、保護者会よりディズニー・ジブリ・ドリフターズ・人気TVドラマなど利用者の皆様が喜ばれる内容のDVDを全51種・56枚ご寄贈いただきました。

より幅広いジャンルを楽しんでいただくためパッケージ化しての貸し出しを行いました。

現時点での延べ貸し出し日数は1388日にも及んでいます。



今後、より多くの利用者様に利用していただくため、「DVDの配達・回収」といった取り組みも検討していきたいと考えています。

コロナ禍で沈みがちの気持ちを、とても明るくしていただきました。保護者の皆様の御厚意に厚く御礼申し上げます。

活動支援グループ 小澤 義一



リモート研修について

新型コロナウイルス感染症対策としての環境が徐々に整い、これまで開催を見合わせていた研修を集合形式からリモート型式へと移行することで開催出来るようになりました。今後も職員の質の向上を目指し、様々な研修を開催していきたいと思っております。

活動支援グループリーダー 嶋貫 琢郎



令和2年度事業団職員提案において「園内全職員へのフェイスシールド配備」で特別賞をいただきました。

フェイスシールドの作製を始めた昨年2月は、マスク等の衛生材料が入手困難で、未知のウイルスに混乱している時期でした。活動支援グループと歯科衛生士で企画し改良を重ね、多くの方々の助言を基に完成したものです。

今回の受賞は、利用者の皆様が安全に生活されるよう新型コロナウイルスの感染予防に取り組んでいる千葉福祉園職員全員に贈られた賞とっております。ありがとうございます。

健康管理室 田中 綾子



クリスマス会について

今年度はコロナ禍のため園全体でのクリスマス会を開催することができませんでしたが、その分、各寮で盛大にクリスマス会を行いました。イルミネーションが施されたモートルが食事を届けに来たときやサンタクロースがプレゼントを届けに来たときには、喜びの声や表情がたくさん見られました。豪華な食事とクリスマスケーキを堪能し、素敵なクリスマスを過ごしました。



お正月について

元日は皆さん、ゆっくりとした時間を過ごしました。おせち料理を重箱に詰めて美味しくいただいたり、寮内や総合訓練センターに設置した神社で初詣を楽しみました。皆さん、神社の前で手を合わせて一所懸命お願いごとをしていました。

三が日は書初めで2021年の目標や抱負を書いたり、正月遊びとして福笑いを行い充実した日々を過ごしました。



節分体験会について

悪鬼を追い払い、健康で幸せに過ごせることを祈り、全利用者様と全職員で、『節分体験会』を実施しました。鬼に見立てたパネルと大豆に見立てたシールを使い、鬼めがけてシールを貼ってもらうことで豆（魔滅（まめ））まきとしました。

豆まきを終えた後の鬼のパネルは、お互いの成果を楽しんでもらえるように、作品として訓練センター周辺に展示しました。甲乙つけがたい力作が揃っていました。「福は内、コロナはめっ（滅）！」

活動支援グループ 高橋 里佳



農園について

当園には、広大な敷地を利用した農園があり、様々な野菜や果物を栽培しています。今年度、新しい試みとして、全利用者様を対象とした収穫体験会を開催し、多くの方々に楽しんでいただくことが出来ました。また、散歩コースとして利用していただけるように環境整備も行いました。

活動支援グループ 多治比 沙希



◆◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆◆

日差しに春の暖かさを感じる日々が続くようになりました。時下ますますご健勝のことと存じます。

さて、流行る病がなかなか収まらない中ではありますが、園では利用者の皆様が日頃より安全に且つ楽しく生活できることを念頭に置いて支援に努めている次第です。

園の恒例行事については、感染予防の観点から開催することが難しい状況ではありますが、12月には各寮でクリスマス会、1月は千葉福祉園神社へ初詣、2月には大豆に見立てたシールを鬼のパネルに貼って節分を体験する等、利用者の皆様が季節を感じ、安全に楽しむことが出来るように工夫をしています。

今後もより良い支援に努めてまいります。当園の運営にご理解いただけると幸いに存じます。

支援第一部門 児童生活支援グループ ひまわり寮 塚田 咲子